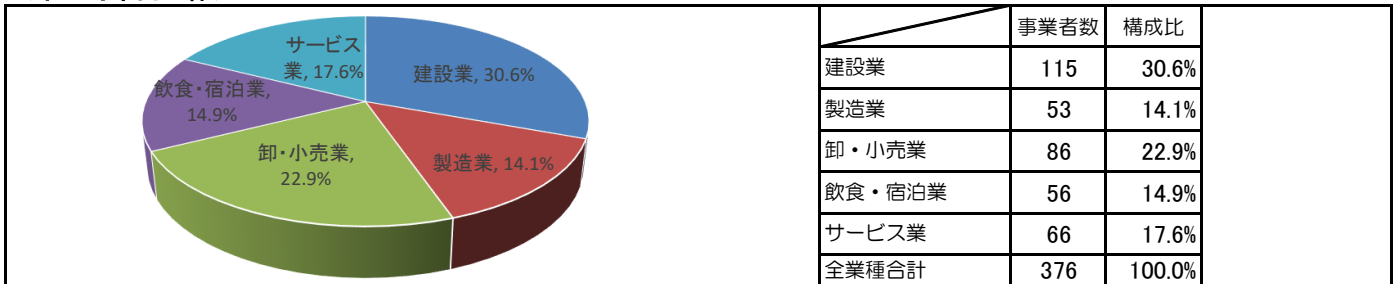


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R4.4.1~R4.6.30) 川西地区

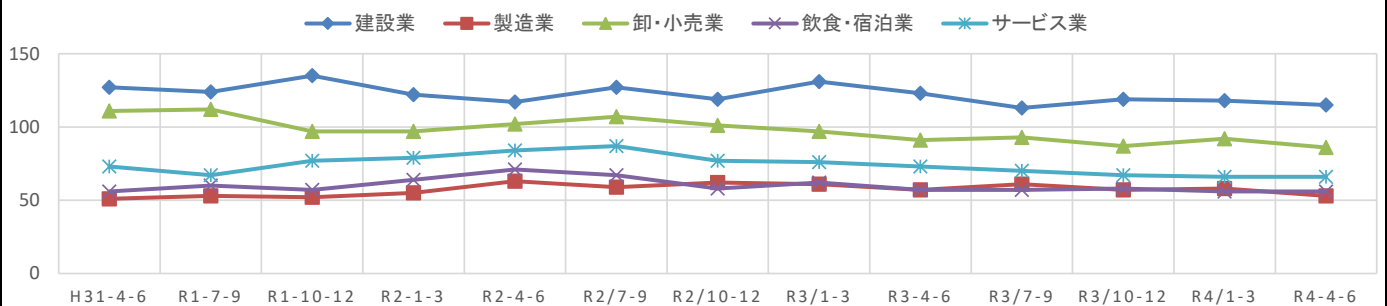
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



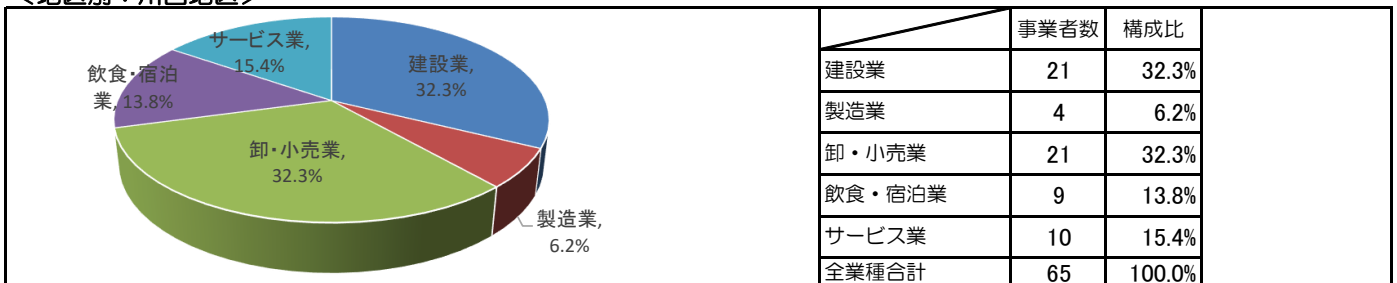
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



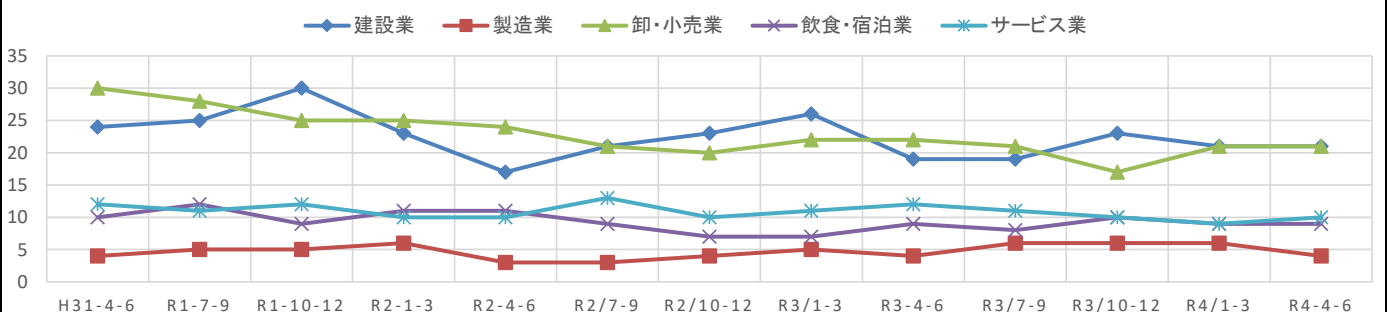
<コメント>

今回の調査は、十日町市内376事業所から回答を得られ、前回調査よりも14事業者減少している。建設業と製造業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

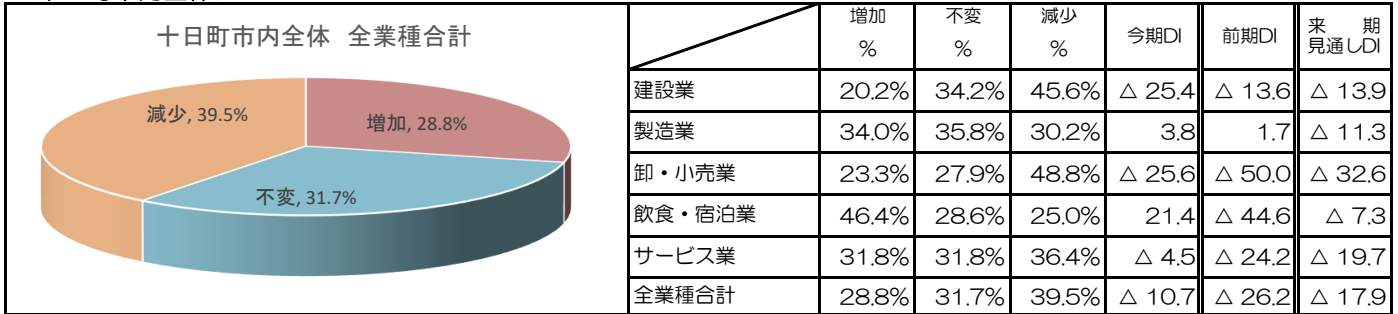
川西地区の今期の調査回答状況は商工業者100社に調査依頼をし、65社(回収率65%)からの回答をもとにした集計結果である。回答数・回答割合について製造業で減少、サービス業では増加したが、その他の業種については前回調査から変動はないものとなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

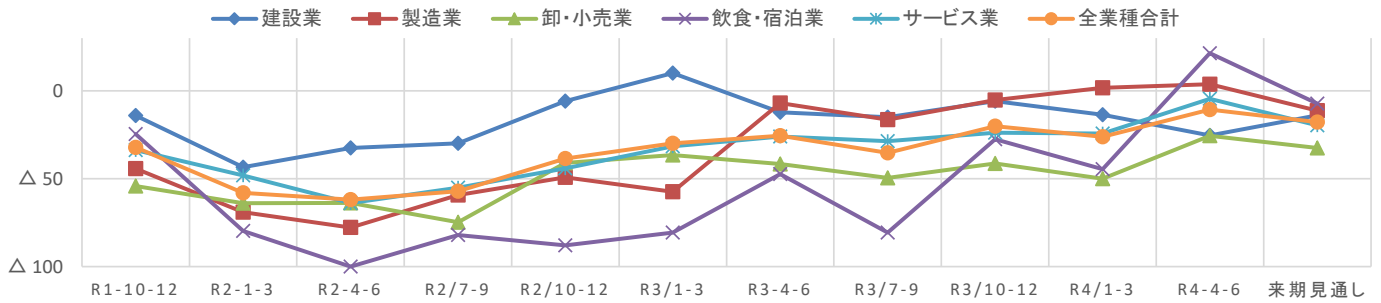
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



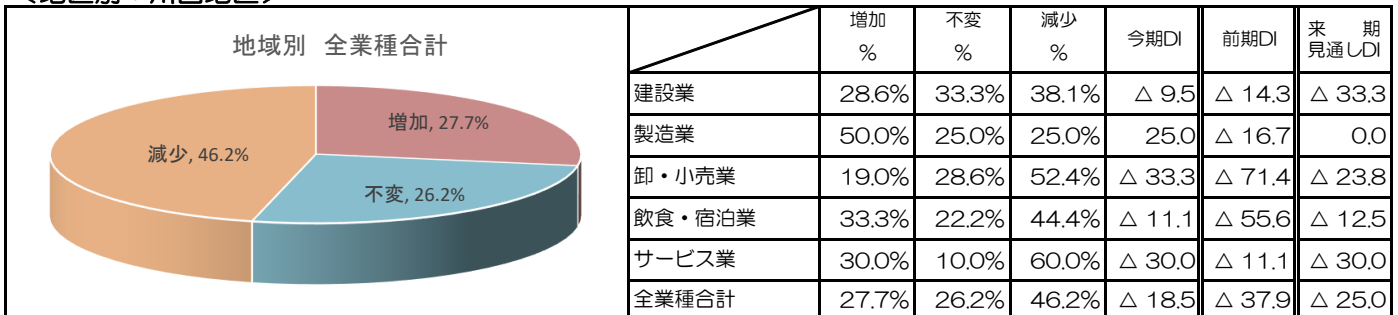
業種別売上の推移（市内全体）



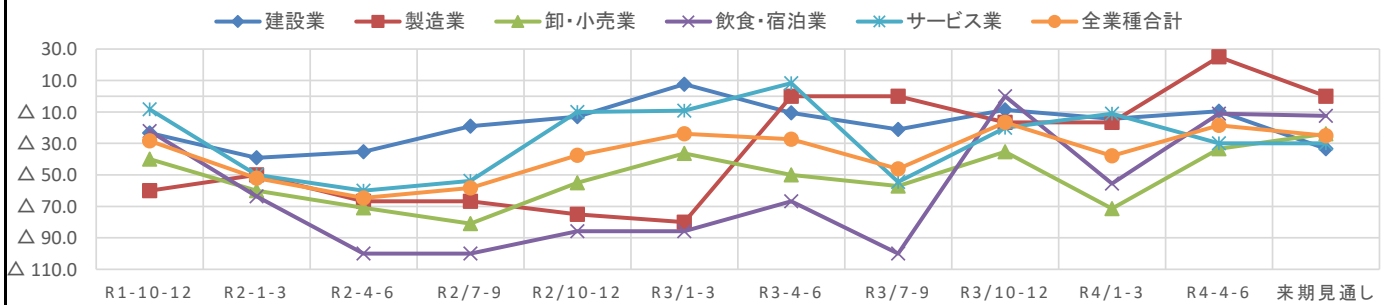
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△10.7ポイントで、前回調査時よりも15.5ポイント上昇となっている。建設業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは建設業以外の業種で低下予想となっており、全業種DI値においても低下する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



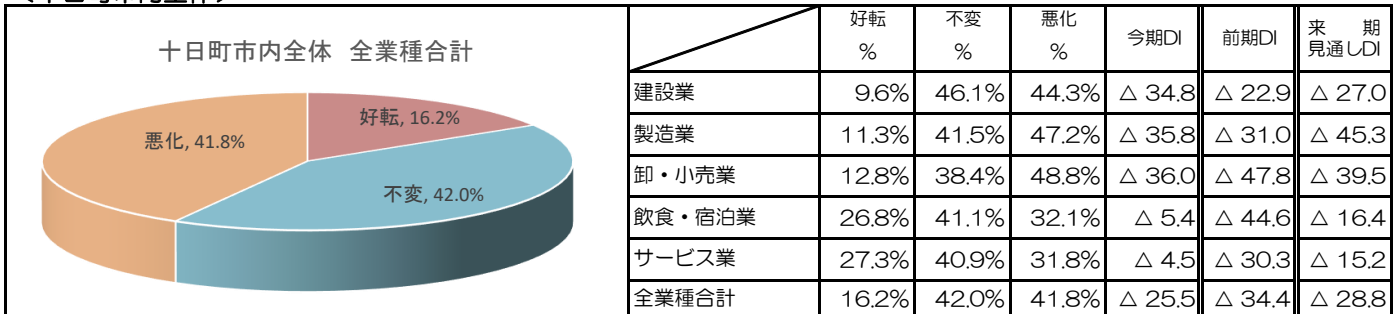
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は全業種合計で△18.5ポイントとなっており、前回調査から19.4ポイント増加している。サービス業を除くすべての業種で増加が見られ、特に製造業、飲食・宿泊業で大幅に回復が見られた。来期については、卸・小売業では増加予測となっているが、建設業、製造業、飲食・宿泊業では減少の予測であることから、全体としても減少予測となった。

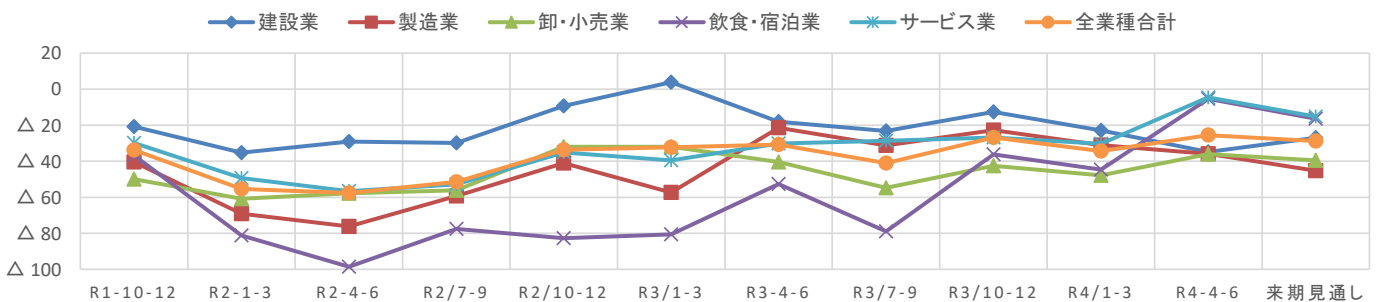
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



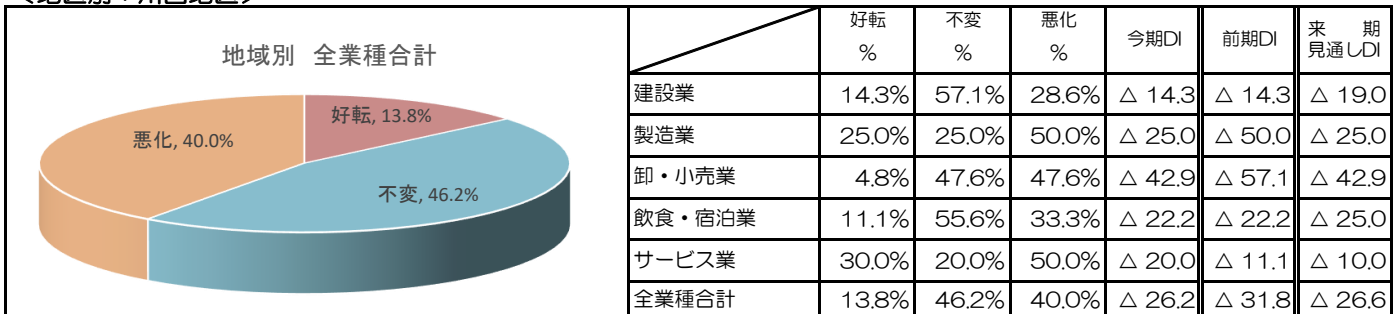
業種別採算の推移(市内全体)



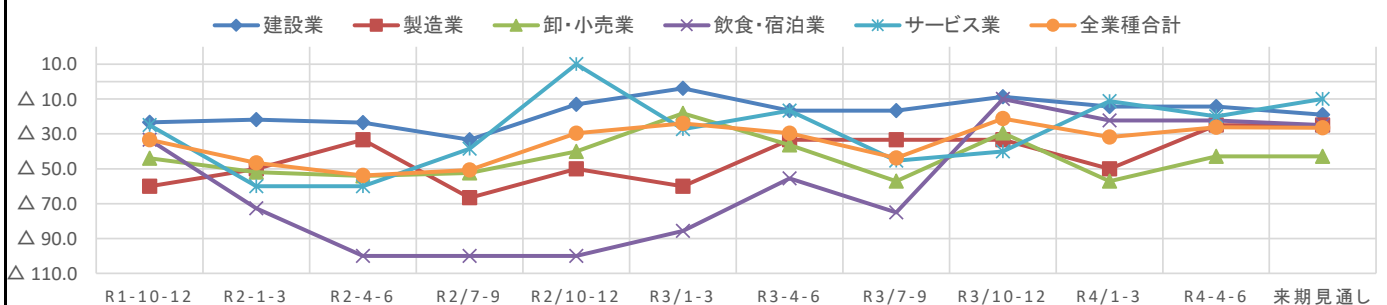
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△25.5ポイントで、前回調査より8.9ポイント好転している。特に飲食・宿泊業、サービス業での好転が大きくなった。来期見通しでは、建設業以外の業種において悪化予測となり、全業種DI値においても悪化見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



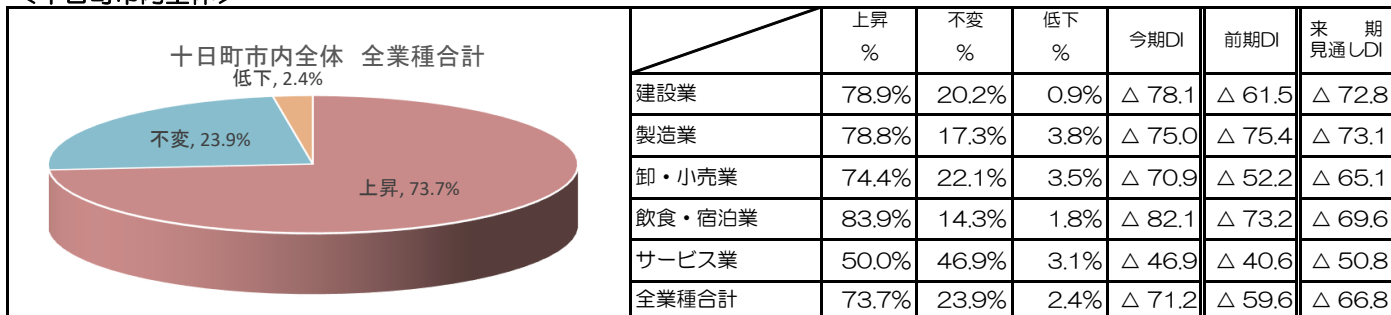
<コメント>

川西地区の今期の採算状況は全業種合計で△26.2ポイントとなっており、前回調査時と比較して5.6ポイント好転している。サービス業では悪化が見られたが、製造業、卸・小売業で好転が見られた。来期見通しは全業種合計では今期から大きな変動はないが、業種別に見てみるとサービス業では好転予測、建設業、飲食・宿泊業では悪化予測となっている。

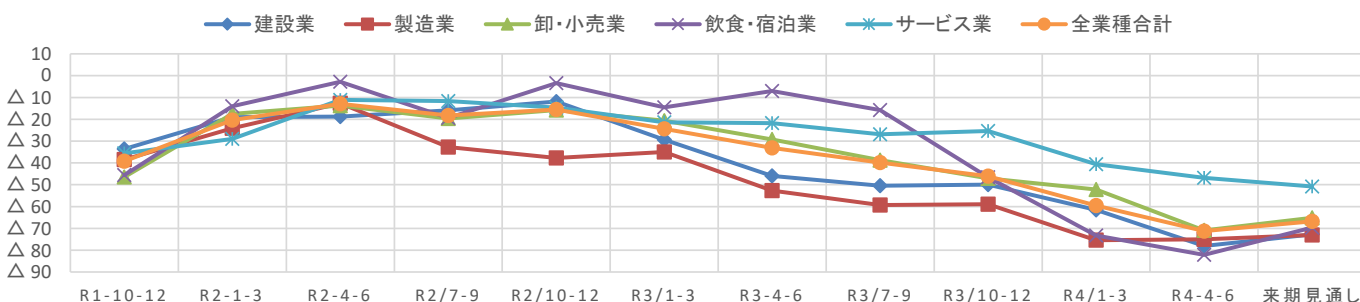
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



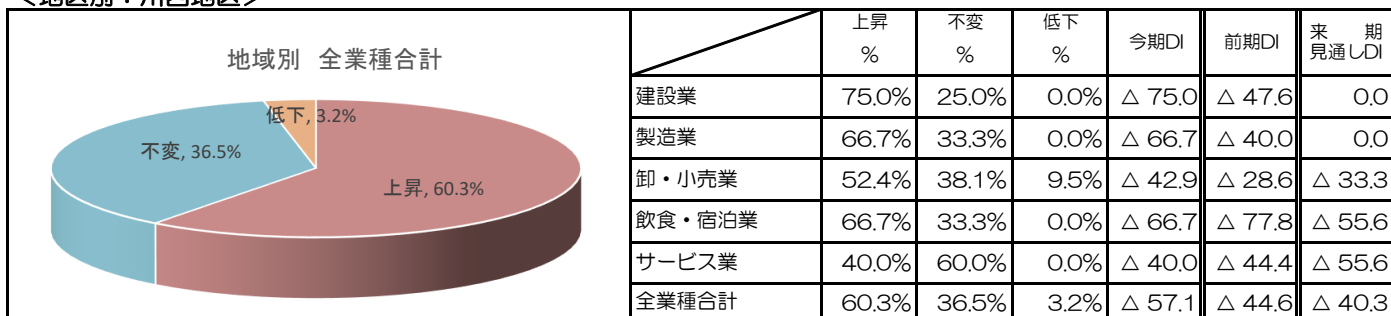
業種別仕入単価の推移(市内全体)



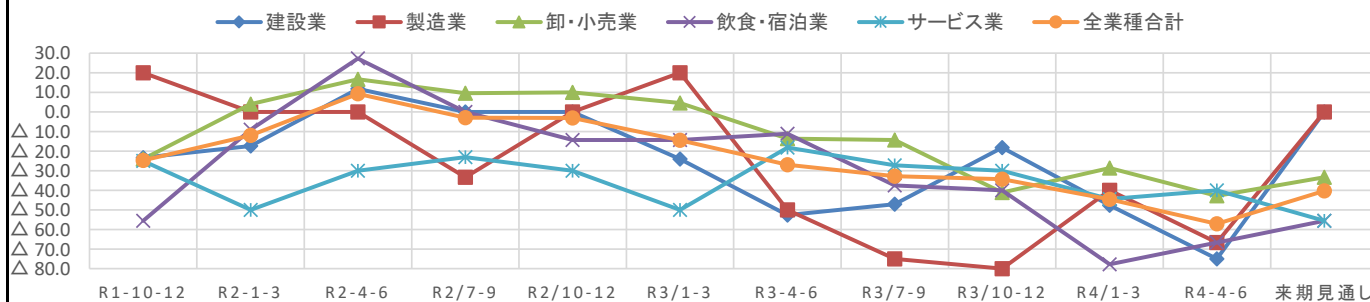
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△71.2ポイントで、前回調査時よりも11.6ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。製造業以外の業種において上昇しており、原料、燃料高騰の影響を大きく受けていると見られる。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



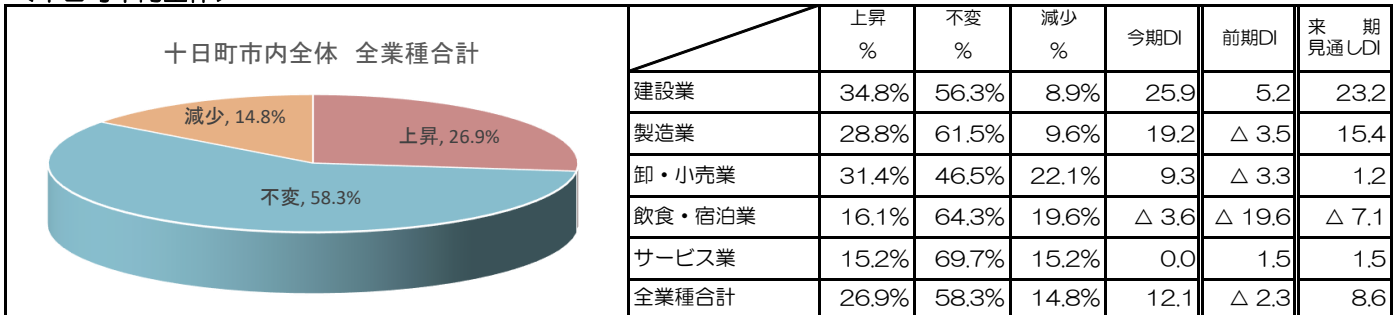
<コメント>

川西地区の今期の仕入単価状況は全業種合計で△57.1ポイントとなっており、前回調査時と比較して12.5ポイントの仕入単価上昇が見られる。飲食・宿泊業、サービス業においては仕入単価の低下が見られたものの、その他の業種では単価上昇が見られた。特に建設業、製造業においては大幅な単価上昇が見られる。来期はサービス業以外の全業種で単価の低下予測となっており、全業種合計でも単価低下の予測となっている。

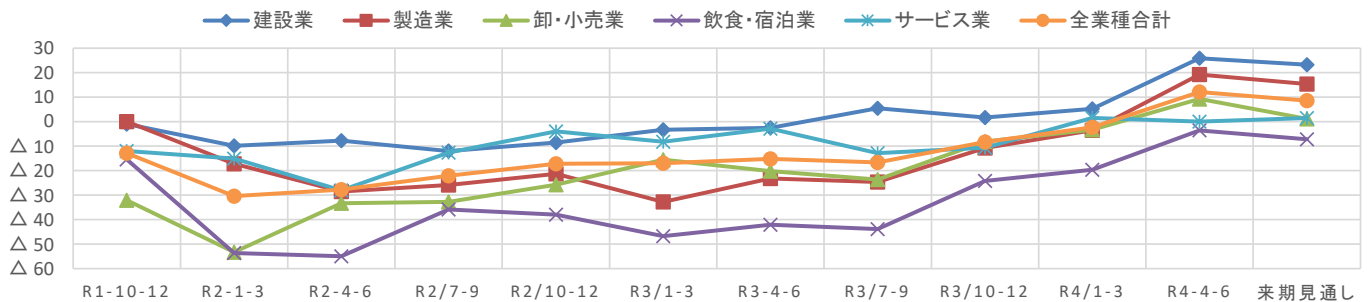
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



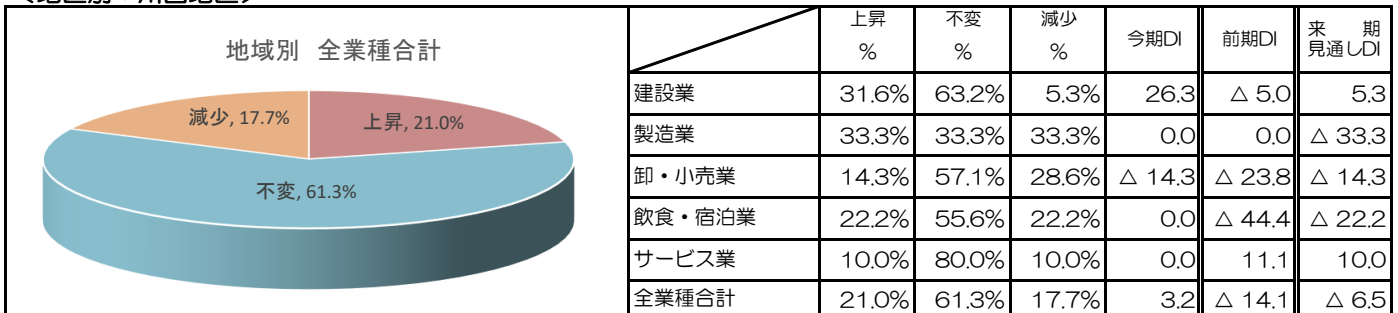
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



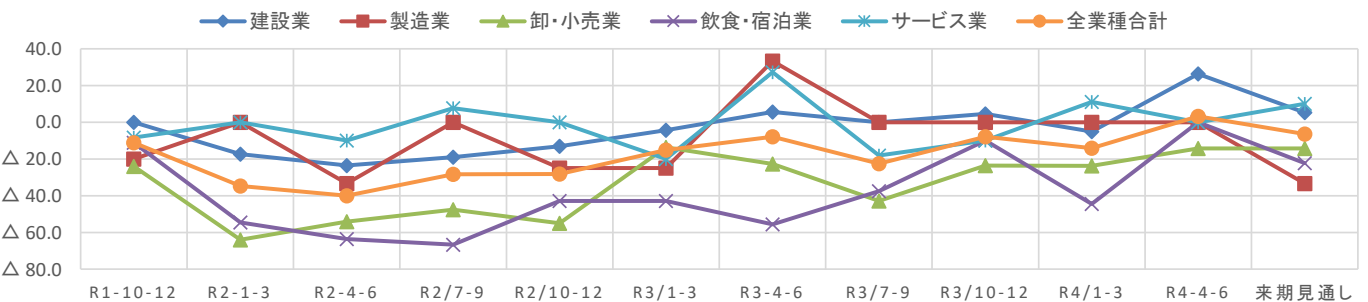
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で12.1ポイントで、前回調査時より14.4ポイント上昇している。サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、サービス業以外で低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



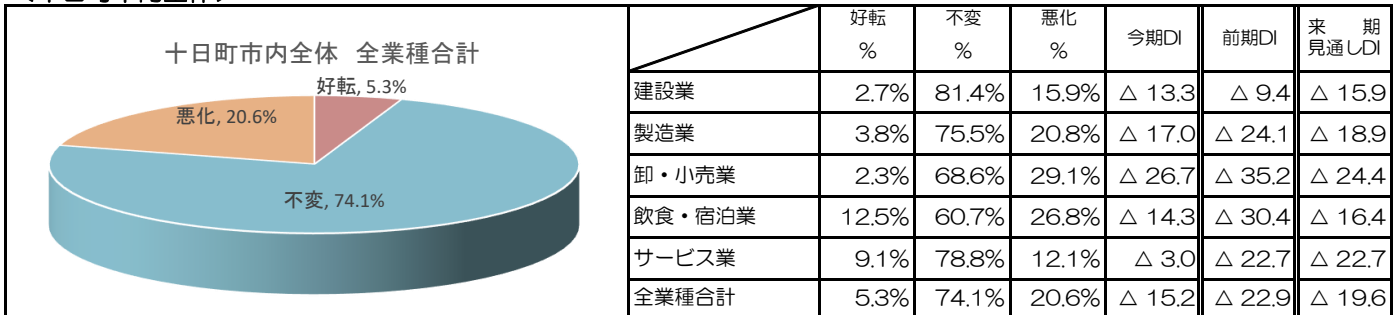
<コメント>

川西地区の今期の販売（客）単価の状況は全業種合計で3.2ポイントとなっており、前回調査時から17.3ポイント上昇している。建設業、卸・小売業、飲食・宿泊業において上昇となっており、特に飲食・宿泊業では大幅に数値が回復した。来期の見通しは、サービス業では上昇予測となっているものの、建設業、製造業、飲食・宿泊業においては減少予測となっており、全業種合計DI値についても減少予測が出ている。

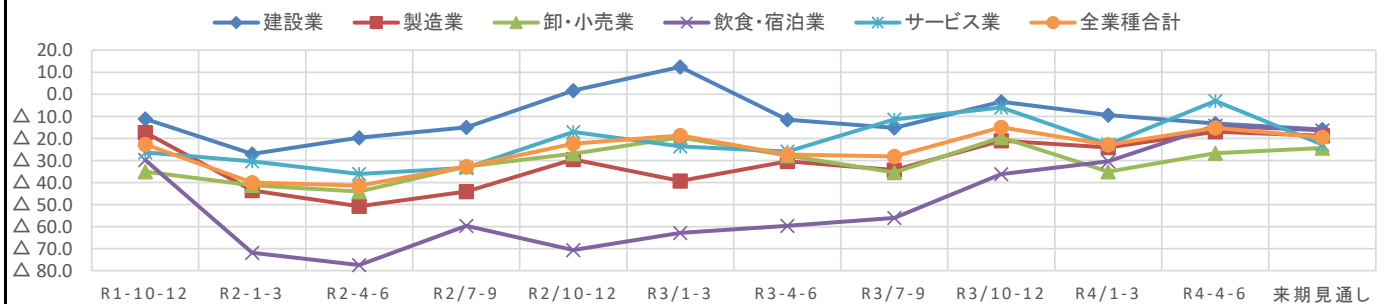
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



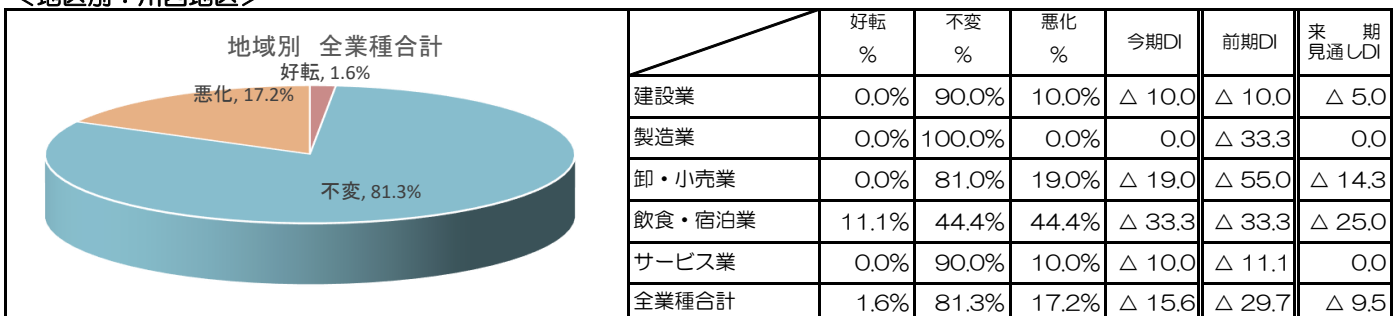
業種別資金繰りの推移(市内全体)



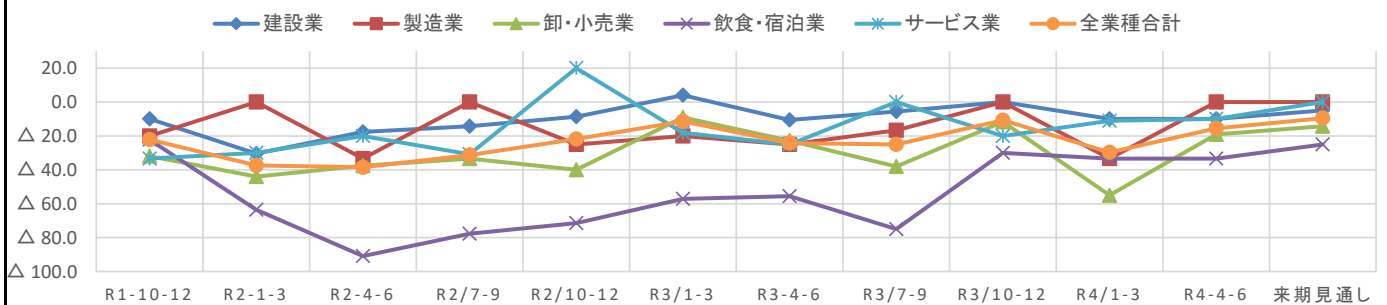
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時より7.7ポイント好転している。建設業以外の業種で好転という形となった。来期見通しとしては、卸・小売業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



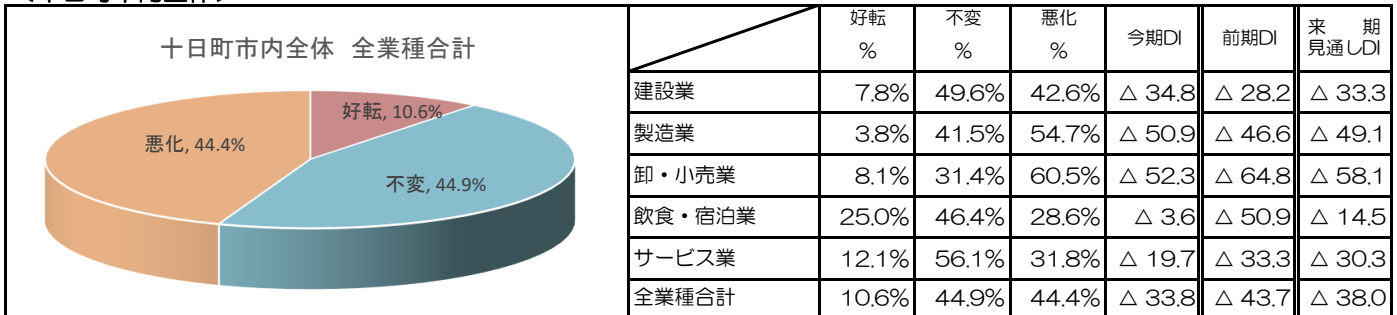
<コメント>

川西地区の今期の資金繰り状況については、全業種合計で△15.6ポイントとなっており、前期と比較して14.1ポイント好転している。すべての業種において好転あるいは停滞となっており、前回調査時よりも悪化した業種はなかった。来期見通しは製造業を除くすべての業種で好転予測となっていることから、全業種合計においても好転の予測となった。

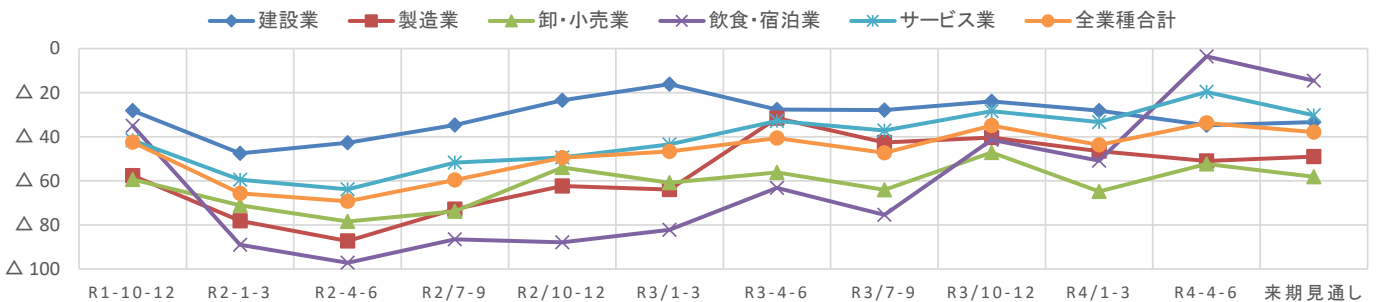
6. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



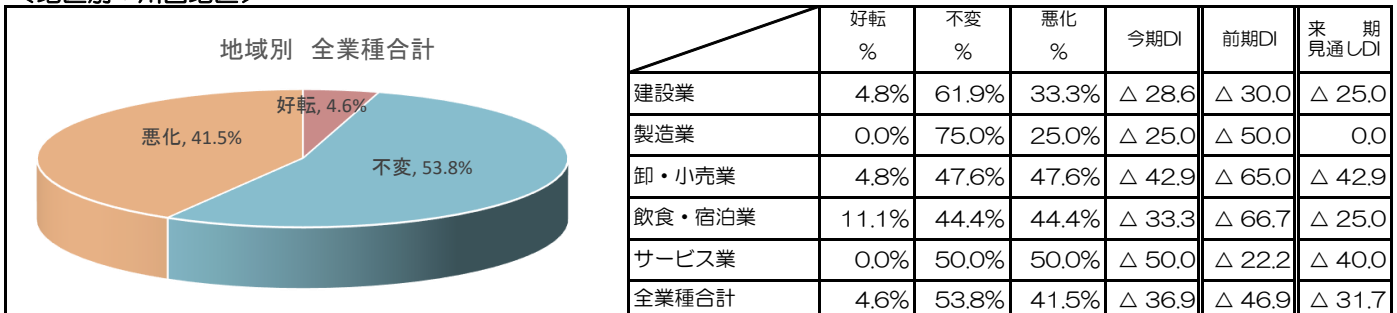
業種別景況判断の推移(市内全体)



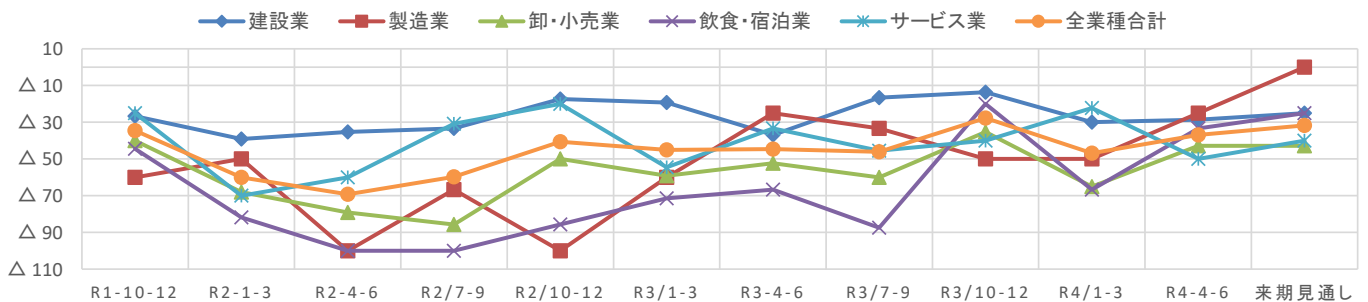
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△33.8ポイントで、前回調査時よりも9.9ポイント好転している。建築資材高騰の影響により建設業の数値の悪化が見受けられ、また製造業も数値悪化となったが、その他業種で軒並み好転となり、全業種DI値を引き上げた。来期見通しは、建設業と製造業が好転予測となるが、その他の業種は悪化予測であり、全業種DI値についても悪化する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



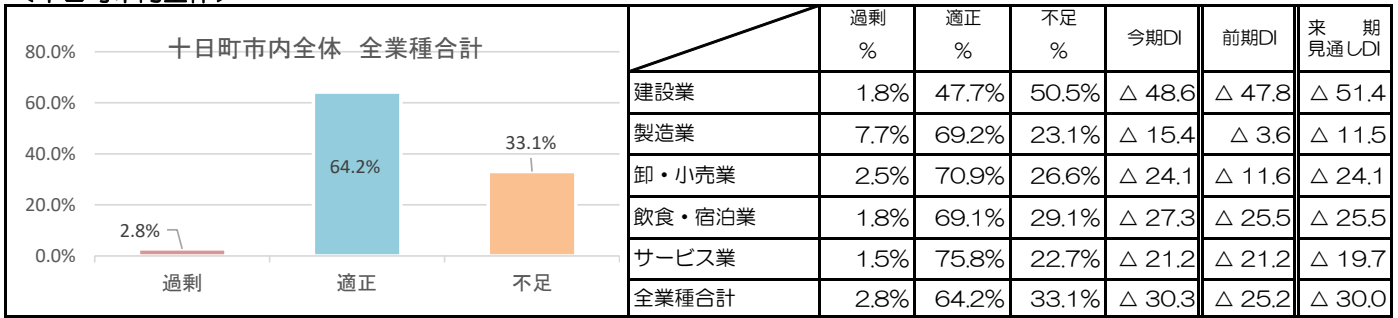
<コメント>

川西地区の今期の景況判断は全業種合計で△36.9ポイントとなっており、前回調査時と比較して10.0ポイント好転している。サービス業では悪化が見られたが、その他の業種で好転している。来期の見通しは卸・小売業では横ばいとなっているものの、その他の業種では好転予測となっていることから、全業種合計についても好転の予測となっている。

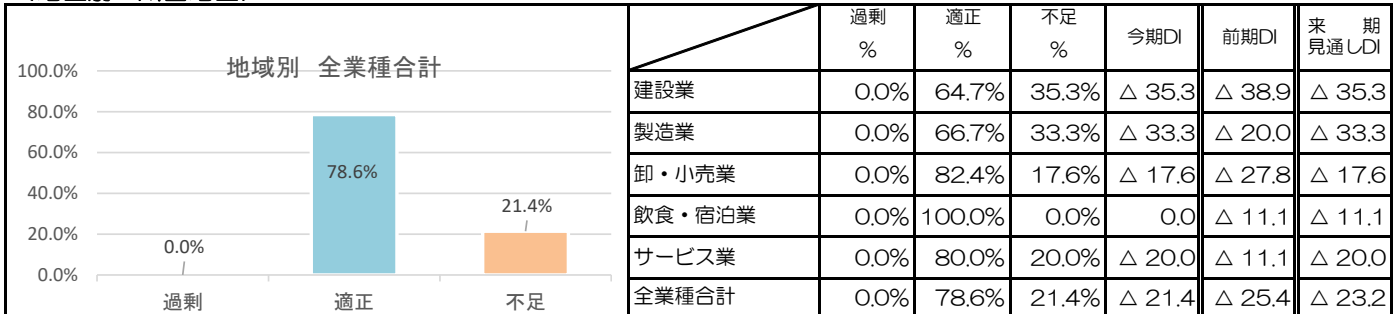
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

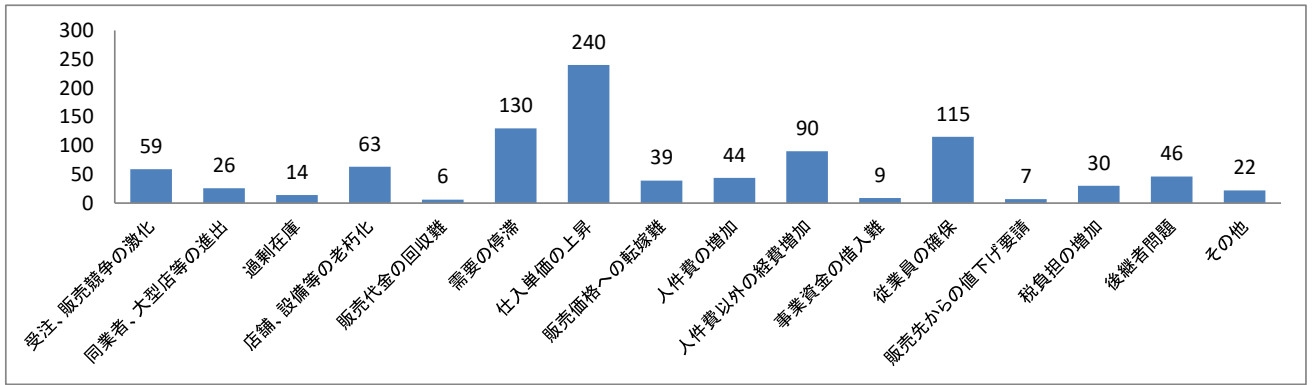


<コメント>

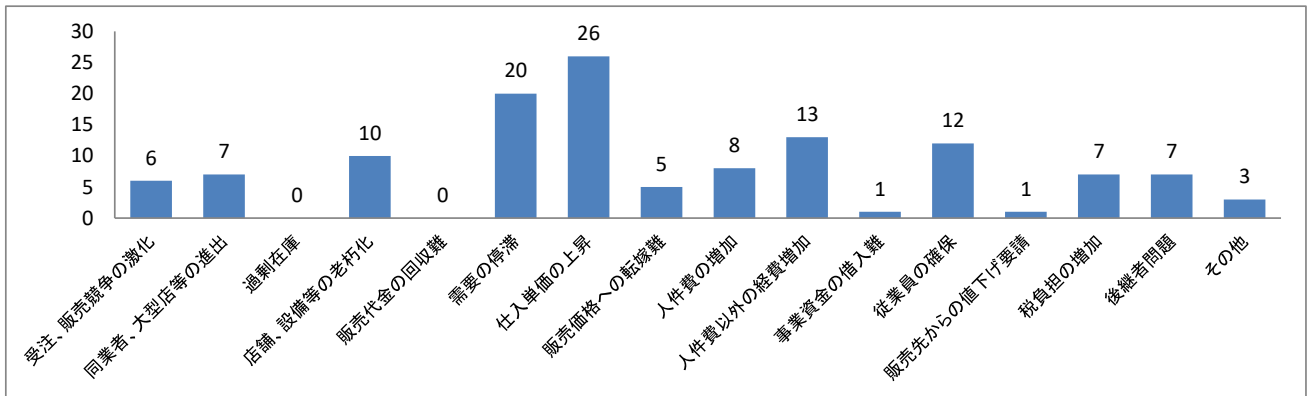
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.2%減少し、不足回答が3.9%前回調査時よりも増加している。川西地区の状況は、不足回答が4.0%減少しており、建設業、卸・小売業、飲食・宿泊業で不足回答が減少した。来期については概ね今期から変化がないものと見込まれているが、飲食・宿泊業においては再び不足するとの見通しになっている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、主要な3項目について大きな順位変動はなかった。川西地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費以外の経費増加」、4位が「従業員の確保」となった。前回調査に引き続き、「仕入単価の上昇」と「需要の停滞」が非常に大きな割合を占めており、多くの事業所で問題となっていることが窺える。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

建設業では、経営上の問題点として「仕入単価の上昇」、「従業員の確保」、「需要の停滞」が上位を占めた。上記3項目については、前回調査時においても上位となっており、多くの事業者で問題となっているようである。売上を含む各質問項目については、横ばい、または数値が回復している項目が多く見られた。但し、仕入単価については、問題点としてもあげられているように単価の上昇が見られた。

【製造業】

製造業においては、経営上の課題として「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」が上位にあげられた。また、その他の項目についても幅広く問題としてあげられており、多方面に課題を抱えている事業所が多いように見受けられた。売上を含む各質問項目については、ほとんどの項目で横ばい、あるいは数値の好転している。特に売上に関してはプラスの数値にまで回復が見られた。一方で、従業員数に関しては不足回答が増加しており、来期についても今期から大きな変動はないとの見通しになっている。

【卸・小売業】

卸・小売業では、経営上の問題点として前回調査と同様、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」の順に多くあげられた。売上を含む各質問項目については、多くの項目で数値の回復が見られたが、問題点としてあげられている通り仕入単価については単価の上昇が見られた。

【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においては、経営上の問題点として「人件費以外の経費増加」、「仕入単価の上昇」が上位にあげられた。売上を含む各質問項目については、すべての項目で横ばい、あるいは数値が好転している。特に売上に関しては大幅に回復が見られた。また、従業員数に関しても、前は不足回答が存在したが、今回調査においては全回答事業者で「適正」との回答となった。

【サービス業】

サービス業では、経営上の問題点として「店舗、設備の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」が上位にあげられた。またその他の幅広い項目を問題としてあげる事業者も多く、多方面に課題を抱える事業者が多いようである。売上を含む各質問項目については、仕入単価と資金繰りに関しては若干の回復がみられたものの、その他の項目においては数値の悪化が見られた。